

特集

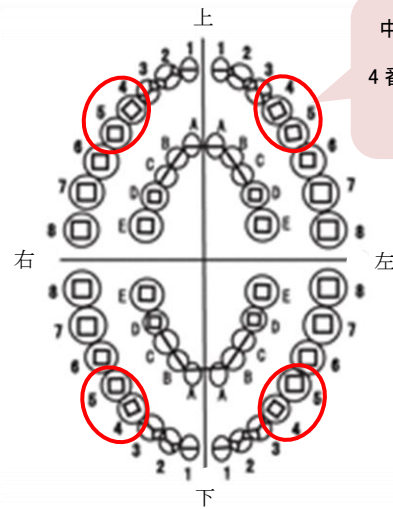
キヤド キヤム (カム) かん CAD / CAM 冠

CAD / CAM 冠

CAD / CAM 冠は、コンピュータを利用して設計と形成加工を行った冠(歯の被せ物)の略称で、先進医療の一部です。

材質は、セラミック、金属、レジン(プラスチックの一種)等がありますが、従来の作り方と比べて、均質のブロックを削り出して製作するため、気泡による破折等が少なく、丈夫になります。

このうちレジンに関しては、平成 26 年 4 月から、小白歯(4 番・5 番)に限り保険適用されることになり、今までの銀色(金属の被せ物)から白いものに変えられるようになりました。



【処置前】



右上 4 番の歯に金属の被せ物



【処置後】



虫歯の治療後レジンの CAD/CAM 冠をセット

保険適用の CAD / CAM 冠のメリット・デメリット

メリット	<ul style="list-style-type: none"> ・歯に近い白い色の人工歯が入る ・保険適用なので経済的 ・咬み合う歯を傷付けにくい
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> ・透明感がなく、セラミックスに比べて自然感に欠ける ・プラスチックを含むため、年数によって黄色く変色しやすい ・歯ぎしりや、くいしばりなどで割れたり、かけたりする時もある

春の 行楽弁当

城南歯科医院のランチに、『お弁当で使えるおかず』を作ってもらいました！
材料はお好みでアレンジも可能です！これからの行楽シーズンに
ぜひお試しください～。(すべて4人分の分量です)



だし巻き玉子

【材料】卵 2～3 個／万能ねぎ 2 本／
ひじき(ドライパック) 20～25g／
かにかま 2～3 本／だし汁大さじ 1/2／塩少々
【作り方】

- ①万能ねぎは小口切りにし、かにかまはほぐしておく
- ②卵をボールに割ほぐし①にひじき、だし汁、塩少々(お好みで)を入れ混ぜて、卵焼き用フライパンに油大さじ 1 をひき、焼いては巻きを 2～3 回繰り返す、卵焼きを作る



アスパラ・えびのマヨ醤油炒め

【材料】アスパラ 1 束／パプリカ黄赤を各 1 個
エビ 100g／マヨネーズ大さじ 1 弱／醤油小さじ 2
(A)塩少々、酒小さじ 1、片栗粉大さじ 1/2
【作り方】

- ①えびに(A)をからめておく
- ②アスパラは下の堅い部分の皮をむき 3cm 位に切りさっと切っておく
- ③パプリカは半分に切り種を取り更に半分にし 1cm 幅位に切っておく
- ④フライパンに油大さじ 1 程度をひき②③をサッと炒め軽く塩・コショウをし皿に取り出しておく
- ⑤④のフライパンに油大さじ 1 程度を足し①のえびを両面焼き火が通ったら④を入れ軽く炒めてマヨネーズ、醤油を入れてサックリからめ火を止める



甘黒酢味の豚肉巻き

【材料】豚ロース薄切り 250g／なす 3 本
ピーマン 3 個(※野菜は冷蔵庫にあるもの
何でも OK!) 小麦粉大さじ 1
(A)水 150ml、鶏ガラスープ小さじ 1/2
砂糖、醤油、黒酢、各大さじ 2
【作り方】

- ①なすとピーマンは棒切りにしておく
- ②肉を広げ①の野菜をのせて巻き、小麦粉を薄くまぶす
- ③フライパンに油大さじ 2 をひき、巻き終わりを下にして並べ両面がこんがりするまで 4 分程度転がしながら焼く
- ④③に(A)のたれを加えて時々返しながら蓋をして軟らかくなるまで煮からめる。出来たら食べやすい大きさに切る



おにぎりに合う! サッパリ和え

【材料】いんげん(1 袋)／大葉 5～6 枚／
かまぼこ 1/2／笹かま 4 枚／白ごま少々／
梅干し 2～3 個／塩昆布 1 つまみ
【作り方】

- ①いんげんは筋を取り 3～4cm にして塩少々を入れた熱湯で 3 分程茹で、冷水に取り水気を切る。
- ②かまぼこは 6～7cm 幅の棒切り(笹かまは斜め切り)大葉は半分に切って千切りにする。梅は種を取り包丁でたたいておく
- ③ボールに①②白ごま、塩昆布を入れ全体をサックリ和える。



理事長コラム (十二)

古稀になっても講演できることは
誠に忝い思いです

かたじけなく

私は来月の四月で古稀を迎えます。金沢大学教授の定年直後に六十六歳になり、四年経過することになります。この現役教授時代には口腔外科医として二十二年余、臨床・教育・研究に充実した日々を送ることができ、何かを遣り残したという思いは全くなく、大満足のうちに定年を迎えられたことに今も感謝しています。

一方、還暦の時に大腸癌に罹患し、三度の手術を乗り越え生還することが出来ましたが、最終術後五年を契機に二〇二一年末にストーマ(人工肛門)をそれまでの仮設から永久受容し、オストミー協会に入会しました。その結果、第十六号でもお話ししたように日常臨床の傍ら、大腸癌啓発のブルーリボンキャラバンの一員として全国を講演する機会に恵まれるようになりました。

昨年に関連の集会を含め、既に四

回講演を行いました。お陰様で好評にて今年も五回の予定が入っています。やはり医療者として口腔癌を治療した経験と大腸癌患者としてオストメイトに至った経験を有することが稀なのかと推察しています。これらの講演は私に与えられたミッションと考え、要請がある限りお話しする決意です。ちなみに本号が発行される直前の三月十四日には東京医科歯科大学で開催されます。大学卒業後、大学院を含め八年の口腔外科医としての修業を開始した場所ということで、「故郷に錦を飾る」思いであり、こういう機会が受けられる境遇に感謝の日々です。

BLUE RIBBON CARAVAN ~ 大腸がん啓発を目的して ~

もっと知ってほしい

2015 in 大腸がんのこと東京

開催日: 3月14日(土)

開場: 9:30-16:45 | 10:00-16:15

場所: 東京医科歯科大学 M&Oホール2F 日本大学記念講堂

講演者: 古田 隆雄 (東京医科歯科大学 口腔外科 教授)

講演テーマ: 大腸がんの診断と治療

講演内容: 大腸がんの診断と治療について、最新の医療技術や治療法について講演します。

講演時間: 10:00-11:30

講演料: 500円 (学生は300円)

申し込み: <http://www.cancerrelief.jp>

お問い合わせ: 03-5840-6073